

(有)西山水産の「バリのフィーレ」
県水産加工振興祭で長崎県知事賞に輝く!



バリのフィーレ

りを加工したものを。

同社では、定置網にかかり水揚げされても売れずに捨てられていたバリに目を向け5年前から加工販売に取り組み現在では敵原のスーパーでの店頭販売と直接販売で年間約1トンを出荷しています。おいしいと消費者からの評判もいそぐです。

西山社長は「初出品での受賞に驚いています。今後も自分で捕った魚の付加価値を高め、販売に力を入れていきたい。」と話していました。



社長の西山文利さん

12月6日、長崎市で開かれた第44回長崎県水産加工振興祭の水産製品品評会で、美津島町尾崎の(有)西山水産(西山文利社長)が出品した「バリのフィーレ」が、企業加工の部で県知事賞を獲得しました。
同振興祭は、水産加工業者の生産技術向上と消費拡大を目的に毎年実施されており、品評会には煮干し類、ねり製品などの5部門に409点が出品され、味や見た目などを専門家が審査しました。
受賞した「バリのフィーレ」は、浅茅湾で捕れた新鮮なバ

生ごみから生まれた新鮮野菜が勢揃い

「元気野菜コンテスト」



出品された元気野菜を品評する審査員

家庭から出る生ごみを利用して栽培した野菜の味を競う「第1回「元気野菜コンテスト」」が1月21日、豊玉地区公民館で開かれました。

家庭から出る生ごみの約4割を占めるといわれる生ごみをリサイクル資源として活用し、ごみの削減を図ろうと対馬市保健環境連合会が主催したもので、コンテストには市内の主婦ら19名が育てた大根、人参、キャベツ、白菜などの色鮮やかな「元気野菜」が出品されました。



最優秀賞を獲得したカブ

「元気野菜」とは、生ごみを微生物の力で分解し、土に戻して栽培した野菜のことで、栄養価が高く野菜本来の味を持つと言われています。また自然と食物と人とのつながりについて考える「食育」の分野でも注目されています。

コンテストでは、敵原町の樺島カツ江さんが育てたカブが最優秀賞を獲得。「こんなにおいしい野菜ははじめて」「すこくみずみずしい」と審査員も絶賛していました。

【その他の結果】 敬称略

優秀賞＝平松綾子(豊玉) がんばったで賞＝玖須和恵(上対馬)・双須富子(峰) きれいで賞＝吉副美千代(上対馬) おどろいたで賞＝豊田精国(美津島)・国分愛子(敵原)

白寿(九十九歳)

おめでとございます

吉田トシコさん
(峰町佐賀)



賞状を受け取る吉田トシコさん

平成18年12月にめでたく99歳を迎えられた吉田トシコさんに、敬老祝い金が贈呈されました。

家族と特別養護老人ホーム「浅茅の丘」の利用者らが見守る中、賞状と祝い金が永尾助役から渡されると、「ありがとうございます」と笑顔でお礼を言っていました。
これからも元気で長生きしてください。

スキーを通して国際交流
上県町の中学生と釜山市内院少年団



1月4～7日まで、上県町国際交流協会と釜山市(財)内院少年団との冬季スキー国際交流が釜山市ハムジゴル修練館と忠清北道の水安保スキー場で開催され、佐須奈中学校と佐須奈中学校の生徒12名(男子5名、女子7名)が、内院少年団13名(男子8名、女子5名)と交流しました。

両団体は3年前から毎年、夏季と冬季お互いの国を訪問し交流を行っており、スキー交流は今回が2回目。夏は



内院少年団が対馬を訪問し、カヤック体験や海水浴を楽しみ、冬には対馬の子どもたちが韓国へ渡り、地元ではできないスキーを体験するなどして親睦を深めています。メンバーの中には昨年からの参加者も数名いて、久しぶりの再会を喜びました。

交流団は、貸し切りバスで早朝にハムジゴル修練館を出発。高速道路で3時間半をかけてスキー場に到着すると、子どもたちは基礎講習と自由スキー班に分かれスキーを楽しみました。

上対馬町武道始大会



1月14日、上対馬町の浜久須運動公園体育館で、上対馬町武道始大会(剣道)が開催され、小学生54名、中学生16名が参加しました。年が明けて初めての大会に、選手たちは新たな気持ちで試合に臨んでいました。

【大会結果】敬称略

団体戦 小学生低学年 比田勝少年剣道クA 護道会
南陽少年剣道クA、比田勝少年剣道クB 小学生高学年 南陽少年剣道ク 豊少年剣道クA 中学生 護道会 比田勝中学校C
個人戦優勝者 小学1・2年(奥川琴未) 小学3年(小川孔嵩) 小学4年(阿比留和弘) 小学5年(佐伯篤哉) 小学6年(小茂田史士) 小学生女子(庄司有希) 中学1年(内山敬志郎) 中学2・3年(内山琢巳)

かみつしま 新春囲碁将棋大会



1月13日、上対馬町文化協会主催の「平成19年かみつしま新春囲碁将棋大会」が、上対馬総合センターで開催されました。

大会には小中学生及び一般から41名が参加。盤上では、白熱した頭脳戦が繰り広げられました。

この大会の参加者は平成17年は26人、18年は36人と年々増加傾向にあり、人気の高まりがうかがえます。



【大会結果各一位】敬称略
囲碁大会
一般の部 白石淳
小中学生の部 比田勝翔
将棋大会
一般の部 松尾裕
小中学生の部 糸瀬宏昭

上県町少年の主張発表大会



1月14日、上県地区公民館で第20回上県町少年の主張発表大会が開催され、町内の小中学生・高校生の代表者11名が出席。学校生活、環境問題、世界平和やいじめの問題など、日頃直面している諸問題に対して自分の意見を会場一杯の来場者の前で堂々と発表しました。

【審査結果】(敬称略)

- 小学生の部 優秀賞 「友達」
小宮成美(佐須奈小6年)
- 中学生の部 最優秀賞 「心のクリーンアップ作戦」
上野航平(久原中2年)
- 優秀賞 「テニス = かけ算」
平山卓磨(佐護中2年)
- 高校生の部 優秀賞 「高校生活について」
糸瀬琢規(上対馬高校2年)

上対馬町少年の主張大会



1月21日、上対馬町青少年健全育成連絡協議会主催の「第16回上対馬町少年の主張大会」が、上対馬総合センターで開催され、町内の各小中学校及び上対馬高校の代表16名が出席しました。

日常生活の中で感じたことを、堂々と発表する姿に、会場の観衆は感心した表情で聴き入っていました。

【審査結果】(敬称略)

- 小学生の部 最優秀賞 「自分にしかできないこと」
谷口隼斗(南陽小5年)
- 中学生の部 最優秀賞 「きれいな海を守るために」
木村真子(比田勝中2年)
- 高校生の部 優秀賞 「陸上と感謝の気持ち」
武末真輔(上対馬高校1年)

長崎県からのお知らせ

長崎県は森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐために

『ながさき森林環境税』を平成19年4月から導入します。

ながさき森林環境税は、森林を守り育てる取り組みに使います。

「環境重視」の森林づくり

水源の森の整備
樹木の生育を妨げる竹の伐採
台風などで倒れた森林の整備
作業路など、森林の手入れを
促す環境づくり

「県民協働」の森林づくり

県民の皆さんの提案・参加による
森林づくり活動の支援

【例】 森林環境学習の支援
里山など身近な森林の利活用
森林ボランティア活動支援
間伐材などの利用促進
地域の森林づくり支援 など

ながさき森林環境税は、県民税に加算して納めていただきます。

個人

(県内に住所、家屋敷等がある方)
税率：均等割額に年間500円
前年の合計所得が一定金額以下等により、
県民税均等割が非課税の方には課税されません。

法人

(県内に事務所等がある法人等)
税率：県民税均等割額の
5%相当額
資本金等の額により、1,000円～40,000円

ふるさとの森林を守り育てる税に、県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

ながさき森林環境税に関するお問い合わせは



農林部林務課 095-895-2983
総務部税務課 095-895-2214

ホームページ：http://www.suisan.n-nourin.jp/oh/topix/rinmu-2.htm